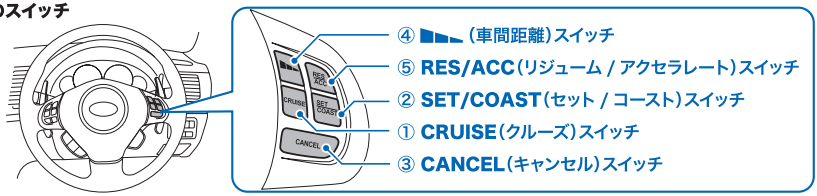
BPH-002001~ , BPE-037001~ , BP5-171001~ , BP9-059001~
BLE-021001~ , BL5-084001~ , BL9-004001~

SIレーダークルーズコントロールを過信せず、交通環境に注意して安全にご使用ください。
ご使用の前には必ず取扱説明書をお読みください。

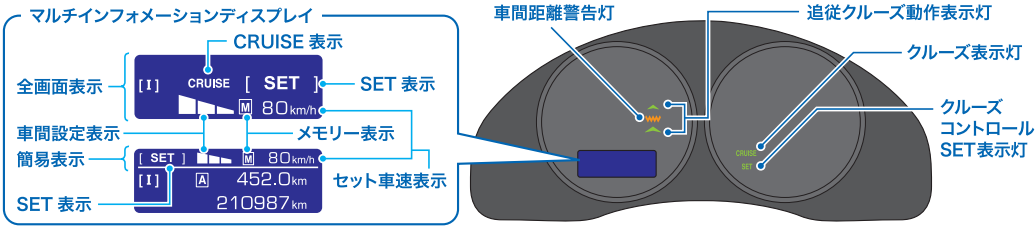
SIレーダークルーズコントロール クイックユーザーガイド

SIレーダークルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路でのドライブをより快適におこなっていただくために車速と車間距離を電子制御する運転支援システムです。ここでは特にSIレーダークルーズコントロールの主な機能である全車速追従機能付クルーズコントロールの操作方法を説明します。

●ステアリング部のスイッチ



●メーター表示構成



全車速追従機能付クルーズコントロールを開始するとき

・①CRUISEスイッチを押します。全車速追従機能付クルーズコントロールのセットが可能になるとマルチインフォメーションディスプレイに[READY]と表示されます。
・②SET/COASTスイッチを押すと、全車速追従機能付クルーズコントロールがセットされ、制御を開始します。
・車間距離は④ スイッチにより3段階に設定できます。

全車速追従機能付クルーズコントロールの動作

・先行車を捕捉しているとき一定の車間距離を保って追従走行をおこないます。このとき、追従クルーズ動作表示灯の上側 が点滅します。
・セット車速を上げるときは⑤RES/ACCスイッチを、下げるときは②SET/COASTスイッチを押します。
・停止車両、二輪車、歩行者などの車両以外のものは捕捉しません。全車速追従機能付クルーズコントロールの使用を控えてください。

約40km/h～100km/hで走行中のとき

・追従走行の上限はセット車速となります。
・車線変更などで先行車を捕捉しなくなるとセット車速まで復帰加速し、定速走行をおこないます。
このとき追従クルーズ動作表示灯の下側 が点滅します。

約40km/h以下で走行中のとき

・自車速が約5km/h以上で、約40m以内の先行車を捕捉しているときにセットできます。
・上限速度約40km/hまで追従走行します。それ以上の速度まで追従したいときは、⑤RES/ACCスイッチを操作してセット車速を上げます。
・車線変更などで先行車を捕捉しなくなると全車速追従機能付クルーズコントロールがキャンセルされます。

※先行車が急に減速したとき
自動ブレーキには限界があります。先行車に接近すると、ピピピ・・・と警報ブザーが吹鳴しますので、ブレーキを踏んで安全な車間距離を保ってください。

※先行車がゆっくりと停止したとき
先行車が停止するのに合わせて、停止間際で制御をキャンセルした後停止します。この後、徐々にブレーキも解除されクリープ走行を開始します。ブレーキを踏んで車を停止させてください。

※追従走行時のアクセル/ブレーキ操作
・アクセルを踏むと加速します。アクセルから足を離すと、セット速度へ復帰します。
・ブレーキを踏むと減速し、全車速追従機能付クルーズコントロールがキャンセルされます。

全車速追従機能付クルーズコントロールを止めるとき

・ブレーキを踏む、あるいは①CRUISEスイッチ、③CANCELスイッチを押す、いずれかの操作で全車速追従機能付クルーズコントロールをキャンセルします。

全車速追従機能付クルーズコントロールを再開するとき

・ブレーキ操作、③CANCELスイッチ操作などで全車速追従機能付クルーズコントロールの制御をキャンセルした後、前回セットした車速で全車速追従機能付クルーズコントロールを再開するには⑤RES/ACCスイッチを押します。
・先行車を捕捉しているときは約5km/h以上から、先行車を捕捉していないときは約40km/h以上からスイッチ操作を受け付けます。

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター カスタマーセンター企画部
発行 2008年4月 Printed in Japan UX
Publication No. F2454JJ-A